

Quest®



KACE®システム導入アプライアンス6.1

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム展開アプライアンス6.1リリースノート.....	3
このリリースについて.....	3
新機能と強化点.....	3
廃止された問題.....	4
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	7
システム要件.....	10
製品ライセンス.....	10
インストール手順.....	11
更新の準備.....	11
通知更新を使用したアプライアンスの更新.....	11
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	12
追加のリソース.....	12
グローバル化.....	12
当社について.....	13
名前を超える存在.....	13
当社のブランドとビジョンと、ともに.....	13
Questへのお問い合わせ.....	13
テクニカルサポートのリソース.....	13
法的情報.....	14

Quest® KACE®システム展開アプライアンス6.1リリースノート

このリリースノート文書は、Quest KACE システム導入アプライアンス (SDA) バージョン 6.1 に関する情報を提供します。

このリリースについて

KACEシステム展開アプライアンス (SDA) は、イメージのキャプチャと展開を行うためのネットワーク中心のソリューションを提供します。KACE SDAはシームレスなクロスプラットフォームのイメージ処理ソリューションを提供するので、ユーザーは1台の管理者コンソールからMicrosoft® Windows®プラットフォームおよびApple® OS X®プラットフォームをプロビジョニングできます。また、ユーザーは1台のデバイスまたは同時に複数のデバイスに、設定ファイル、ユーザープロファイル、およびアプリケーションをイメージとして展開できます。

KACE SDAは、同種および異種の両方のハードウェア環境における展開を自動化するのに必要なツールを提供し、マルチキャスト機能とタスクエンジン機能により、大規模なイメージ展開を高い信頼性で実現できます。ビルトインのドライバフィードにより、デルのドライバモデルが自動的にダウンロードされ、パッケージ管理機能を使用することにより、サードパーティ製のドライバパッケージをアップロードすることもできます。また、KACE SDAをKACEシステム管理アプライアンス (SMA) と統合することでKACE SMAインベントリのイメージを作成することもできます。KACE SDAは、仮想アプライアンスとして使用できます。

KACE SDA バージョン 6.1 は製品のマイナーリリースであり、いくつかのマイナーな新機能、拡張機能、問題解決が含まれています。

新機能と強化点

次の新しい機能と拡張機能がこのリリースに組み込まれています。

新機能と強化点

機能	問題 ID
Windows 10 PE の電源プランを「高パフォーマンス」に設定することで、KBE (KACE ブート環境) のパフォーマンスが向上します。	ESMEA-4722
各種の Deployment Workbench ツールのダウンロードリンクを、管理者コンソールで使用できるようになりました。	ESMEA-4698
レガシーブートと UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) の自動切り替え用の新しいタスクとタスクグループ。	ESMEA-4679
すべてのプレインストールタスク、インストール中タスク、ポストインストールタスクを展開リストからクリアできます。	ESMEA-4471

機能	問題 ID
ブート環境 リストページに、デフォルトで設定されている KBE が表示されるようになりました。	ESMEA-4429
ネットワークインタフェースの設定と構成：アプライアンスは、複数の NIC (ネットワークインタフェースカード) をサポートします。拡張リンクアグリゲーションの設定も含まれます。	ESMEA-4402
RSA (リモートサイトアプライアンス) の システムイメージ ページに表示されるイメージを、ユーザーインタフェースで明示的に指定できるようになりました。管理を容易にするために、RSA からアプライアンス、またその逆方向で、イメージへのリンクを使用できます。	ESMEA-4182
10 ギガビットのネットワークイーサネットアダプタをサポートします。	ESMEA-4148
プレインストールタスク、インストール中タスク、ポストインストールタスクを名前でフィルタリングできます。	ESMEA-3702
1 台の KACE SDA から別のアプライアンスに移行できます (両方のアプライアンスが同じバージョンである場合)。	ESMEA-3424
<p>i 重要: Quest Software では、同じネットワークと同じサブネット上の移行元アプライアンスと移行先アプライアンスで移行を実行することを強くお勧めします。必要に応じて、移行の完了後に、移行先アプライアンスを適切なサブネットに移動することができます。</p>	

廃止された問題

次の問題は、このリリースで廃止されています。

廃止された問題

廃止された問題	問題 ID
<p>i 重要: PGM (Pragmatic General Multicast) マルチキャストプロトコルは、製品でサポートされなくなりました。</p> <p>対策：マルチキャストプロトコルは、デフォルトで NORM (NACK-Oriented Reliable Multicast) に設定されるため、それが唯一のオプションです。既存のブートアクションのデフォルトプロトコルとして PGM が選択されていた場合、この設定は、アップグレード中に自動的に NORM に変更されます。</p> <p>i 注: ネットワーク環境や条件に応じて最大伝送速度を加速できるため、より信頼性の高い NORM プロトコルをさらに速い速度で使用できます。</p>	ESMEA-4374

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
RSA KBE 内からカスタム展開にアクセスできませんでした。	K2-7112
進行状況 または 監査ログ の下で手動展開を検索すると、エラーページが表示されていました。	K2-7086
kverify スクリプトを実行すると、アップグレードによる変更対象として、アップグレードの完了前に削除されなかった 2 つのバックアップサービスが表示されていました。	K2-7082
WIM イメージキャプチャの際に、ファイル swapfile.sys が除外されていました。	K2-7077
アップグレードスクリプトで、誤った場所にある領域を確認していました。	K2-7049
Windows の Mozilla Firefox および Google Chrome で、ダッシュボードウィジェットのドラッグアンドドロップが動作していませんでした。	K2-7043
WIM イメージをキャプチャする際に、クライアントマシンで サーバに直接キャプチャ オプションが選択されていると、ユーザーが KImage オプションを選択しても、サーバに直接キャプチャ オプションが選択されたままになっていました。	K2-7019
概要 ページの中レベルタスクのリンクが正しくありませんでした。	K2-7017
オフラインスキャンを使用してユーザーを手動で展開する際に、テンプレートが表示されませんでした。	K2-7013
言語が DE/ ドイツ語に設定されている場合、更新の確認 ボタンが更新のドロップ領域にまで及んでいます。	K2-7012
言語設定 ページの地域に応じて数値形式が表示されていませんでした。	K2-7011
LDAP サーバ認証エントリの順序を変更できませんでした。	K2-7010
選択した デフォルト のアプライアンステーマが、新規および再作成された LDAP ユーザーに適用されませんでした。	K2-7009
新しいバージョンの Windows ADK で、英語以外の言語のキーボード設定が想定どおりに適用されませんでした。	K2-7007
Windows 7 で ScanState を最適化するための USMT スキャンテンプレートオプションの説明が正しくありませんでした。	K2-7006
kverify スクリプトにより、RSA でプレインストールタスク、インストール中タスク、ポストインストールタスクのチェックが実行されていました。	K2-7005
RSA が、システムイメージ表示方法 : アプライアンス ドロップダウンリストに表示されませんでした。	K2-6997
KACE メディアマネージャのバージョンが、Windows で 9.9.9 と表示されていました。	K2-6995

解決済みの問題	問題 ID
Netboot をオフにしても、NFS 共有が引き続き有効になっていました。	K2-6991
Mac OS 10.13 のイメージで「bless」を使用できませんでした。bless コマンドは、Mac イメージが起動可能かどうかを示します。	K2-6990
Mac OS の内蔵ハードディスクがデスクトップに表示されませんでした。	K2-6989
13G ハードウェアで、全二重オプションを使用して NIC 速度を設定できませんでした。	K2-6971
USMT (User State Migration Tool) の新しいリビジョンがアプライアンスにアップロードされ、RSA に同期された後も、RSA で古いリビジョンの USMT が使用されていました。	K2-6963
K-Image キャプチャを選択しても、サーバに直接キャプチャ オプションが有効になっていました。	K2-6962
Munin が動作を停止し、後続の警告の結果、スパムメールが発生していました。	K2-6960
KACE SDA アプライアンスをオフボードストレージから内部ストレージに戻すと、データベースが古いバージョンから復元され、深刻な問題が発生する可能性があります。	K2-6833
アップグレード後に、ドライバフィールドの青い矢印アイコンが間違った場所に表示されていました。	K2-6664
WIM イメージのキャプチャ中、WIM イメージ用のファイルリストを作成しているフェーズ、または WIM イメージをキャプチャしているフェーズの間、プログレスインジケータが動きません。	K2-6573
LDAP 作成のテスト ボタンが、初期設定で動作していました。	K2-6566
コンソールでログインとパスワードに konfig と入力して、3.7 SP1 アプライアンスに変更を加えようとする、リンクアグリゲーション IP が正しくないというエラーが表示されていました。リンクアグリゲーションが有効な場合は、詳細が表示されました。	K2-5957
KBE の .iso ダウンロードを使用して、UEFI 仮想マシンを起動できませんでした。	K2-5606
マルチパーティションイメージで、USB 展開の問題が報告されていました。展開にドライブ D: が必要な場合に、USB がドライブ D: として割り当てられ、その結果、展開の問題が発生していました。	K2-5119
ユーザープロファイルのスキャンタスクが失敗したときに、タスクエラー ページからタスクの再試行を試みると、成功という結果が示されました。しかし実際には、選択したユーザープロファイルはスキャンされておらず、アプライアンスにもアップロードされていませんでした。	K2-4427
ユーザープロファイルのオフラインスキャンは、USB 展開のユーザープロファイルのオフラインキャプチャおよび USB KI の展開でサポートされていませんでした。タスクが存在する場合、メッセージが表示されました。	K2-3376

x64 および x86 の日本語 Windows オペレーティングシステムの場合、Sysprep 済みの K-Image およびスクリプト形式のインストールの展開中、デバイス名が保持されませんでした。

K2-3170

既知の問題

次に示しているのは問題の一覧です。これには、サードパーティ製品に属する問題、リリース時点で存在が認識されている問題が含まれます。

一般的な既知の問題

既知の問題

問題 ID

PCIe (Peripheral Component Interconnect Express) バスを使用している NVMe (non-volatile memory express) により設定されているシステム上で Windows 7 のスクリプト形式のインストールを実行しているとき、次のエラーが発生します。

Microsoft

Windows needs the driver for device [Standard NVM Express Controller]

この問題はKACE SDAアプライアンスとは関係がないため、サポートが提供されていません。

対策：次の回避方法は、そのままの状態ですべてサポートなしで使用できます。詳細については、次の KB 記事をお読みください。

<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/185551>

展開レポートに表示される IP アドレスと MAC アドレスは、混乱を招く可能性があります。

K2-7088

アプライアンスは、電子メール送信時の、電子メール認証の基準を満たしていません。

K2-7087

ライセンスが制限に達したときの、ドイツ語の翻訳が明瞭ではありません。100 台のデバイス制限に達したことを明記する必要があります。

K2-7073

管理対象インストールのインポート ページで、2 語以上の検索が機能しません。

K2-7050

clientdrop 共有を使用して大規模なアプリケーションタスクをアップロードすると、504 Gateway Timeout ページが表示される場合があります。

K2-7028

一般設定 ページで イメージングオプション を選択すると、アプライアンスおよび RSA 上のインポートされたイメージでは、サーバから直接展開 チェックボックスがデフォルトで選択されません。

K2-7025

初期設定セットアップコンソール画面に、ローカライズされたテキストの文字がありません。

K2-7024

KACE システム管理アプライアンス (SMA) のオペレーティングシステム用に作成された管理対象インストール (MI) をインポートした後、KACE SDA サーバで実行時環境が Windows として表示されます。

K2-7000

既知の問題	問題 ID
Hyper-V サーバで日付または時刻を変更しても、更新された日付または時刻がシステムに反映されません。	K2-6996
KACE SDA で Munin のグラフをズームできません。	K2-6994
ユーザー警告は、重複しているインポートまたはエクスポートでは表示されません。	K2-6972
一部の環境では、アプライアンスが再起動されるか、Samba が再起動されるまで、KBE は共有を再マッピングしません。	K2-6844
ターゲットで SMB v.1 が無効になっている場合、オンライン USMT スキャンおよびオフボードパッケージ転送は失敗します。 対策：サポートポータルまたはライブラリの概要ページからダウンロード可能な、USMT アドバイザツールを使用します。このツールは、このプロセス中に発生した一般的な問題に役立ちます。	K2-6775
複数のvCPU (仮想中央処理装置) を搭載するVMware仮想マシンで、レガシーiPXE にPXEブートを実行できない。 詳細については、次の KB 記事をお読みください。 https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/232911	K2-6769
一部のモデルは、デバイスの初期化段階の間にフリーズし、UEFI PXE起動時にKBEメニューに到達できません。  注: これは、製造元のBIOSバージョンに関する既知の問題です。BIOSバージョンをアップグレードまたはダウングレードすると問題が解決する場合があります。	K2-6552
RSAでオフボードストレージを使用しているとき、MacクライアントマシンがRSAからNetBootで起動できません。	K2-6502
ネットワークアダプタ設定NICが E1000E に設定された状態でESXi 5.xに作成された仮想マシン (VM) では、KACE SDAでiPXE (UEFI用) を起動できません。 対策：VMネットワークアダプタ設定NICを E1000 に設定します。	K2-6496
ADK (Windowsアセスメントおよびデプロイメントキット) 10を使用して作成されたKBEであるWINPE10から展開するとき、Windows XPのスク립ト形式のインストールが失敗します。 対策：ADK 8.1を使用して作成されたKBE、WINPE5を使用するとWindows XPのスク립ト形式のインストールが正常に導入されます。	K2-6484
Mac OS X 10.11、ASR (Apple Software Restore) /Kイメージの導入時にNetBootログイン画面がクライアントマシン上に表示され、起動処理が設定されます。 対策：NetBoot環境でMac OS X 10.11用の前処理手順が完了するまで待機することをお勧めします。完了時にはログイン画面で画面の下部にパスワードボックスとKACE SDA IPが表示されます。また、導入の進行状況はKACE SDA管理コンソールで監視できます。 これらの処理が完了する前にログインが試行された場合は、KACE SDAイメージングユーティリティがドック上に表示されず、ユーザーがNetBoot環境へと再起動する必要があります。	K2-6479

既知の問題

問題 ID

Windows USMT (User State Migration Tool) 5またはUSMT 10を使用するWindows XPユーザープロファイルのスキヤンが、KACE SDAサーバ上で間欠的に進行中のままになります。

K2-6477

対策：Windows XPのユーザープロファイルはWindows PEからスキヤンできます。これはMicrosoftが推奨する対処方法です。詳細については、<https://social.technet.microsoft.com/Forums/en-US/83ddb84e-d919-4acc-91ca-78d4f1478df1/scanstateexe-from-usmt-50-from-windows-81-adk-fails-on-windows-xp-with-1-is-not-a-valid-win32>を参照してください。

アプライアンスのパフォーマンス ページに、外部ストレージのディスク使用率が表示されません。

K2-5893

KACE SDAからASRイメージがキャプチャされていない場合、インポートされたASRイメージの展開が失敗します。

K2-5758

i 注: アプライアンスは、アプライアンスからキャプチャされたASRイメージ用にImageStoreディレクトリを作成します。

対策：petemp ディレクトリに ImageStore フォルダを作成します。

10.9.2 Mac® デバイスを NetBoot イメージで起動した場合、アプライアンスのロケール設定が英語以外であると、指定したロケールがキーボードレイアウトに表示されません。

K2-4562

KACE SDAのライセンスが期限切れになったときに、KACE SDAデバイスインベントリに含まれていないMac®デバイスを起動すると、「ライセンスが限度を超えました」というエラーメッセージがターゲットデバイスに表示されません。ターゲットデバイスが、アプライアンスからの起動を何度も試行します。

K2-2815

Hyper-Vの既知の問題

既知の問題

問題 ID

Microsoft Hyper-V®でのアップグレードで適切なディスクパーティションがマウントされない場合があります。

K2-6561

同期が完了したとき、RSA ステータスが自動的に更新されません。

K2-6558

ESMEA-2896

マルチキャスト展開の既知の問題

既知の問題

問題 ID

ユニキャストの代わりにマルチキャストを介して、2 つまたは複数のパーティション WIM イメージを展開すると、最初のパーティションのみが展開されます。

K2-5393

対策：この問題で利用できる回避策があります。詳細については、次の KB 記事をお読みください。

<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/kb/212975>

エラー発生時にマルチキャスト展開が続行されません。

K2-4180

対策：マルチキャスト展開をエラー発生時に続行するように設定しないでください。

ESMEA-624

リモートサイトアプライアンスの既知の問題

既知の問題	問題 ID
<p>オフボードストレージからオンボードストレージへの逆方向の移行中にRSAを再起動すると、RSAにアクセスできなくなります。</p> <p>i 注: データロスを防ぐには、RSA データを別の場所またはデバイスにエクスポートします。逆方向の移行が完了するまで、RSA の電源を切ったり再起動したりしないでください。</p>	K2-3775 ESMEA-3168
<p>メディアを RSA にアップロードしようとする、メディアマネージャに次のエラーメッセージが表示されます。「無効な応答です。指定したホスト名を確認してください。」</p> <p>対策: ホスト名またはIPアドレスがKACE SDA (RSAではない) のホスト名またはIPアドレスであることを確認してください。</p>	K2-3290
<p>リンク先アプライアンスを切り替えると、管理コンソールの右上隅にあるドロップダウンリストに、シングルサインオン (SSO) を使用してKACE SDAからログインしたすべてのアプライアンスではなく、リンク先アプライアンスのみが表示されません。</p>	K2-3241

システム要件

バージョン 6.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 6.0.425 (6.0) です。アプライアンスが以前のバージョンを実行している場合は、このメジャーリリースをインストールする前に記載されているバージョンに更新し、アップデートファイルをインストールした後でアプライアンスを再起動する必要があります。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACE システム展開アプライアンス管理者コンソールにログインし、右側にある サポートが必要な場合 ペインを開いて、ウィンドウの左下にある KACE SDA について をクリックします。

バージョン 6.1 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SDA の技術仕様で確認できます: <http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/6.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/>。

製品ライセンス

現在KACE SDAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SDAをお使いになる場合は、アプライアンスの『セットアップガイド』で製品ライセンスの詳細をご確認ください。「」に移動して、適切なガイドにアクセスします。

- i** 注: バージョン 6.1 の製品ライセンスは、バージョン 5.0 以降の KACE SDA でのみ使用できます。バージョン6.1のライセンスは、KACE SDAの旧バージョン (5.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。
- i** 注: アップグレードの前に ステータス概要レポート をチェックして、現在のメンテナンスステータスが有効であり、有効期限が切れていないことを確認します。

インストール手順

アプライアンスを更新するには、通知更新を使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードします。

更新の準備

KACE SDAを更新する前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- 現在のバージョン：KACE SDA 6.1 をインストールするために必要な最小バージョンは 6.0 です。アプライアンスのバージョン番号を確認するには、KACE SDAにログインし、ウィンドウの左下にある KACE SDAについて をクリックします。以前のバージョンのアプライアンスをお使いの場合は、6.1のインストールを行う前に、記載されているバージョンに更新する必要があります。
- ディスク領域：KACE SDAでは20 %以上の空きディスク領域が必要になります。

その他の推奨事項：

- 十分な時間の確保：150 MBを超えるようなサイズが大きいデータベースの場合、更新プロセスに数時間かかる可能性があります。
- 開始前のバックアップ：次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、アプライアンスのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
- SSHの有効化：KACE SDA管理コンソールの [セキュリティ設定 セクション](#)で、SSHを有効にします。
- KACE SDAサーバの再起動：アプライアンスのメンテナンス [設定ページ](#)で、更新する前にKACE SDAサーバを再起動します。

通知更新を使用したアプライアンスの更新

アプライアンスを更新するには、アプライアンスの [ダッシュボード ページ](#)または管理者コンソールの [アプライアンスのメンテナンス ページ](#)で通知される更新プログラムを使用してください。

! **注意:** 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

- 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
- 左側のナビゲーションバーで、[設定](#) をクリックしてメニューを展開し、次に [アプライアンスのメンテナンス](#) をクリックして [アプライアンスのメンテナンス ページ](#)を表示します。ページの下部までスクロールし、[再起動](#) をクリックします。確認 [ダイアログ](#)で [はい](#) をクリックしてサーバを再起動します。
- 左側のナビゲーションバーで、[設定](#) をクリックしてメニューを展開し、次に [アプライアンスのメンテナンス](#) をクリックして「[アプライアンスのメンテナンス](#)」ページを表示します。
- [更新の適用](#) をクリックしてアップグレードプロセスを開始します。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に（数回の可能性あり）再起動します。
- [サーバ更新の確認](#) をクリックします。

アップグレードが完了すると、アプライアンスは自動的に再起動します。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Quest KACE で更新ファイルが公開されている場合、そのファイルを手動でアップロードして、アプライアンスを更新できます。

! **注意:** 更新中は、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

1. 次のサポート技術情報の記事で説明されている手順を使用して、KACE SDAのすべてのアイテムをエクスポートします。
 - [KACE SDAバックアップのベストプラクティス](#)
 - [KACE SDAアプライアンスをバックアップする方法](#)
2. ログイン資格情報を使用して、Quest Webサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-deployment-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SDAサーバ6.1の更新ファイルをダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 管理コンソールにログインします。
4. 左側のナビゲーションバーで、設定 をクリックしてセクションを展開し、次に アプライアンスのメンテナンス をクリックして アプライアンスのメンテナンス ページを表示します。
5. KACE SDAの更新 > 手動更新 で、参照 をクリックして更新ファイルを選択し、開く をクリックします。
6. サーバの更新 をクリックします。

アプライアンスの更新に必要な時間はKACE SDAにあるコンテンツによって異なります。手動でアプライアンスをハードシャットダウンしないでください。また、アプライアンスはアップグレードプロセス実行中に、完了するまで自動的に (数回の可能性あり) 再起動します。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/technical-documents>)
 - 外部 I/O 接続リファレンス : <http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/6.1-common-documents/13g-external-io-reference/> に移動します。
 - 技術仕様 : 製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています : <http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/6.1-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/>
 - 管理者ガイド : アプライアンスのセットアップと使用の手順です。 <http://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-deployment-appliance/6.1-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報 (北米以外のお客様が必要とする情報など) を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースでは、あらゆるシングルバイトまたはマルチバイト文字列をサポートします。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があります。また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運

用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへのQuestの促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社のお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

営業窓口またはその他のお問い合わせについては、www.quest.com/contactを参照してください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルは、問題を迅速に自身で解決するのに使用できるセルフヘルプツールを提供しており、毎日24時間アクセスできます。このサイトでは、以下の操作を実行できます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

Copyright 2018 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, the Quest logo, Join the Innovation, and KACE are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. For a complete list of Quest marks, visit <https://www.quest.com/legal/trademark-information.aspx>. All other trademarks and registered trademarks are property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、指示に従わなかった場合に、ハードウェアの損傷やデータ損失につながる可能性があることを示します。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、人身傷害、または死亡事故につながるおそれがあることを示します。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、補足情報を表しています。

KACEシステム展開アプライアンスリリースノート

更新日 - 2018年11月

ソフトウェアバージョン - 6.1